

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学 期
自己発見	2単位 人間を知る	宗教と人間	山下智子	2年次	秋

授業のキーワード	地球環境保護・グローバリゼーション・いのちの大切さ
授業の概要・目的	この授業では、現代社会に生きるわたしたちが直面する緊急課題の中からいくつかを選んで、その問題を学び、加えて現代キリスト教がその問題にどう答えようとしているかを考えたいと思います。①地球環境保護や食の問題、国際化・グローバリゼーションの問題 ②いのちの大切さ・死・ターミナルケア・生命倫理の問題について、クラスメートと共に学んだことを発表します。
履修のアドバイス・ 前提科目等	学生は、授業に予定されているテーマの中から興味のあるものをひとつ選んで、それについてグループで発表します。グループ発表の形式は自由ですので、パワーポイントなどを用いて面白いものにしてください。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	オリエンテーション	この講義の目的と進め方・発表のやり方などについて説明します	第9講	わたしたちの身の回りの死と喪失体験	愛する人やペットを亡くした体験について考えてみましょう
第2講	地球環境の保護とエコロジー	環境問題に対してわたしたちはどんな責任があるのでしょうか	第10講	ターミナルケアとホスピス運動	ターミナルケアとホスピス運動
第3講	食の大切さとわたしたちの食生活	わたしたちは毎日どんなものを食べているのでしょうか	第11講	自傷行為(リストカットなど)とその防止	自傷行為はなぜおこるのでしょうか
第4講	国際化・多元化する社会	国際化・多元化する社会で生きてゆくにはどうしたらよいでしょうか	第12講	自殺とその防止	自殺を防止するために私たちができることは何でしょうか
第5講	グローバリゼーションと世界の貧困 ①	グローバリゼーションとは何でしょうか	第13講	AIDS の現状と感染防止	AIDS の日本での現状はどうなっているのでしょうか
第6講	グローバリゼーションと世界の貧困 ②	グローバリゼーションの中、今世界では何が起きているのでしょうか	第14講	いのちと生命倫理 (尊厳死・安楽死)	死にあたってわたしたちはどのような選択をしたらよいでしょうか
第7講	いじめと虐待	いじめや虐待はどうして起こり、どうすれば防げるのでしょうか。	第15講	期末試験	
第8講	心とからだを育む	わたしたちの心とからだを育むにはどうしたらよいでしょうか	評 価 方 法		期末レポート (40%) グループ発表 (30%) 授業への積極的参加度 (15%) 出席状況 (15%)
備 考 (関連する資格・試験等)	この授業をとる人には、体育の日の祝日 10月7日(日)ー8日(月)、1泊2日で、栃木県那須塩原市のアジア学院にて行われる「秋の収穫祭ワークキャンプ」(日本基督教団高崎教会主宰)に参加し、国際協力や有機農業を実際に体験することを勧めます。参加費用は実費。詳しくは講師まで。				
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
授業中にプリントを配布します			神田健次編『<講座>現代キリスト教倫理 1 生と死』日本基督教団出版局 1999年 栗林輝夫編『<講座>現代キリスト教倫理 4 世界に生き		

る』日本基督教団出版局 1999 年
柏木哲夫『定本ホスピス・緩和ケア』青海社、2006 年